

科目名 (英)	キャリアデザインⅢ (Career DesignⅢ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・コース	歯科衛生士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 1組2時限・2組4時限
【授業の学習内容と心構え】 歯科衛生士として現場経験のある教員が授業を担当する。臨地現場での経験から、自分の体験談も踏まえ臨地実習・就職活動について動機付けを行う。 また、これから歯科衛生士および社会人になるために必要なキャリア教育を行う。 歯科衛生士になる将来を想像しながら、仲間と支えあいながら全力で1年間を過ごしてほしい。 長期的な目標と短期的な目標を立て、一つずつ確実に達成していってほしい。							
【到達目標】 臨地実習Ⅲ・Ⅳに向け、対象者理解ができるようになる 将来の自分を想像し、歯科衛生士になる夢の実現を本気で考える 計画、優先順を考え行動することができる 仲間と助け合いながら過ごすことができる							
【使用教科書・教材・参考書】 臨地実習要綱、就職活動マニュアル その他配布プリント				【授業外における学習】 臨地実習の予習・復習 対象者理解 求人検索と医院見学			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション(歯科衛生過程について) 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 卒業時の姿を想像し、1年間の目標・計画を立てることができる 臨床実習Ⅲの目的・目標を説明することができる 歯科衛生過程を理解し、歯科衛生計画の立案ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 就職活動について① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 就職活動の流れを説明することができる 求人票に記載されている項目を説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 就職活動について② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 医院見学のポイントを列挙することができる 履歴書の記入ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 中間試験/解答・解説 【授業形態】 筆記/講義 【到達目標】 自分と向き合うことが出来る 自らの課題を見つけ、対処することができる 勉強の習慣を身につけることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 就職活動について③ 【授業形態】 講義 【到達目標】 将来像を明確にし、どんな場所で就職したいかを想像できる 履歴書の準備ができる 具体的な行動計画を立てることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 学習方法について① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 グループで学び合い、教え合いができるようになる 自分に合った学習方法を見つける 勉強の習慣を身につける				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 学習方法について② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 グループで学び合い、教え合いができるようになる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験/解答・解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 自らの課題を見つけ、対処することができる 行動計画を立て実行することができる				【評価について】 中間試験(40点満点) 実施方法: 筆記 定期試験(60点満点) 実施方法: 筆記		
【特記事項】							

科目名 (英)	衛生行政・社会福祉学 (Public Health Administration・Social Service)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・専攻	歯科衛生士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3・4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 歯科医師として臨床の現場で活躍する講師が授業を担当する。衛生行政・社会福祉を学んだ教員が実社会の経験も踏まえ、歯科衛生士をめざす学生の皆さんにわが国の法制度を習得してもらうことを目的に講義を進める。歯科衛生を取り巻く法律・制度などの変化は著しい。歯科医療を安定した形で安全に国民に提供するには、法制度の見直しと円滑な実施ができるような行政上の諸制度が必要となっている。そのため、歯科衛生士には法制度の変化を常に敏感に理解、認識することが求められていることを意識し授業に臨んでいただきたい。							
【到達目標】 歯科衛生士として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することを目的とする。							
【使用教科書・教材・参考書】 最新 歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度				【授業外における学習】 授業前には教科書を読み、法律用語などについて理解を深めること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 衛生行政について 法制度の重要性について 【授業形態】 講義 【到達目標】 法治国家における法・制度の成り立ちと重要性に触れ、衛生行政の目的を理解し、その組織と所掌内容を把握する。			9	【授業単元】 地域保健法 健康増進法 口腔保健法 高齢者医療確保法 【授業形態】 講義 【到達目標】 地域歯科保健活動を詳細に把握し、各市町村での保健活動がどのように変わってきたか、その状況を理解する。高齢者医療確保法における特定健診・特定保健指導を把握し、後期高齢者医療制度について理解を深める。		
2	【授業単元】 母子保健法 学校保健安全法 食育基本法 【授業形態】 講義 【到達目標】 妊産婦、乳幼児の保健サービスについて理解し、歯科衛生士として従事する場合の具体的役割について理解する。幼稚園、学校における歯科保健教育活動の実践について理解する。			10	【授業単元】 障害者総合支援法 食品衛生法 労働安全衛生法 感染症法 【授業形態】 講義 【到達目標】 障害者総合支援法を把握する。食品衛生法等の健康食品等に関連する規定について理解する。労働安全衛生法の目的、安全管理体制を理解する。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の目的を理解する。		
3	【授業単元】 歯科衛生士法Ⅰ 歯科衛生士法の成り立ち 目的 【授業形態】 講義 【到達目標】 歯科衛生士法の経緯・概要について理解する。			11	【授業単元】 介護保険法 地域包括ケア 【授業形態】 講義 【到達目標】 介護保険法の制定により地域で実施されるようになった、介護予防事業について、歯科保健と関連させて理解する。		
4	【授業単元】 歯科衛生士法Ⅱ 免許 資格 業務 【授業形態】 講義 【到達目標】 歯科衛生士法の身分法としての、免許取得より実務に至るまで把握する。			12	【授業単元】 社会保障制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 社会保障制度や生活保護、児童福祉等の社会福祉制度について理解する。		
5	【授業単元】 歯科医師法 歯科技工士法 【授業形態】 講義 【到達目標】 歯科医師法、歯科技工士法の関連医療従事者身分法について学習し、歯科衛生士との業務連携について理解する。			13	【授業単元】 医療保険制度について 【授業形態】 講義 【到達目標】 国民皆保険であるわが国の社会保険制度の概要と仕組みを理解する。		
6	【授業単元】 医療法について 医療計画について 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療の理念とともに医療施設を規定した医療法について理解する。			14	【授業単元】 国民医療費について 医療経済について 【授業形態】 講義 【到達目標】 国民医療費や医療経済について、歯科保健と関連させて理解する。		
7	【授業単元】 歯科医療と関わる医療関係者について 【授業形態】 講義 【到達目標】 歯科医療と関わる医療関係者について、法律とともに理解する。			15	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 本科目の到達目標到達度の確認を行い、習熟度を判断する。		
8	【授業単元】 薬事衛生法規 中間試験 【授業形態】 講義 【到達目標】 薬事に関する法規について理解する。			【評価方法について】 中間試験(40点満点) 実施方法:多肢選択式、記述式による筆記試験 定期試験(60点満点) 実施方法:多肢選択式、記述式による筆記試験 最終評価は中間と定期の合計100点満点で行う。			
【特記事項】 資料を配布するが教科書は必ず持参すること。							

科目名 (英)	歯科衛生学実践 (Dental Hygiene Practice)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 1・2時限
【授業の学習内容と心構え】 担当歯科衛生士制を導入している歯科医院で主任歯科衛生士として予防処置をメインに仕事をしてきた経験から、予防処置の実践的な手技を指導します。 歯科予防処置論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ内容を基礎に臨床実習や就職後のために知識を深め、技術を磨きます。 チームで業務を行う意識とイニシアチブが術者にあることを意識し取り組んでください。 自ら学び、成長させる為、積極的にアドバイスをもらってください。							
【到達目標】 口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的な知識、技術および態度を修得する。 チーム医療、チーム歯科医療の一員としての歯科衛生士の役割を理解する。 人々のニーズに合った支援のため、歯科衛生のアセスメント・診断、計画立案、介入、記録、評価ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 最新 歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				【授業外における学習】 1・2年生で学習したもの、臨床実習で身につけたものが土台となった授業です。 技術はもちろんですが、知識も高めて授業に臨んでください。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 歯科衛生アセスメント 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる			9	【授業単元】 歯科衛生アセスメント(実技試験前練習) 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる		
2	【授業単元】 歯科衛生アセスメント 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる			10	【授業単元】 歯科衛生アセスメント(実技試験前練習) 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる		
3	【授業単元】 口腔内写真撮影法 【授業形態】 演習 【到達目標】 アイスベシヤルを使用した口腔内写真撮影法を習得する 正しい構図を理解し、撮影したものを考察する			11 中間	【授業単元】 実技試験(口腔内写真) 【授業形態】 演習 【到達目標】 正しい構図での撮影ができる 口腔内所見を列挙できる ブラーク増加因子となるものを列挙できる		
4	【授業単元】 口腔内写真撮影法 【授業形態】 演習 【到達目標】 アイスベシヤルを使用した口腔内写真撮影法を習得する 正しい構図を理解し、撮影したものを考察する			12 中間	【授業単元】 実技試験(口腔内写真) 【授業形態】 演習 【到達目標】 正しい構図での撮影ができる 口腔内所見を列挙できる ブラーク増加因子となるものを列挙できる		
5	【授業単元】 歯科衛生アセスメント 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる			13 中間	【授業単元】 実技試験(口腔内写真) 【授業形態】 演習 【到達目標】 正しい構図での撮影ができる 口腔内所見を列挙できる ブラーク増加因子となるものを列挙できる		
6	【授業単元】 歯科衛生アセスメント 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者実習の術式から復習したい項目について相互実習を行うため、個々に準備してくること その項目について、実技試験の評価表を基に自己評価できる			14 中間	【授業単元】 実技試験(口腔内写真) 【授業形態】 演習 【到達目標】 正しい構図での撮影ができる 口腔内所見を列挙できる ブラーク増加因子となるものを列挙できる		
7	【授業単元】 Oデータの収集とTBI 【授業形態】 演習 【到達目標】 口腔内を診査し、より多くの情報が収集できるようになる。 正 常を知り、異常に気付くことができる			15	【授業単元】 歯科衛生診断・歯科衛生計画立案(現状の説明) 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者の情報を整理し、口腔内の特徴をまとめる 現状を把握し、目標を立てる 長期目標、短期目標をもとに介入方法を考察する		
8	【授業単元】 Oデータの収集とTBI 【授業形態】 演習 【到達目標】 口腔内を診査し、より多くの情報が収集できるようになる。 正 常を知り、異常に気付くことができる			【評価について】 実技試験 68点 記述試験 32点満点 中間試験:①②で40点満点 定期試験:③④⑤で60点満点			
【特記事項】 忘れ物や身だしなみについて厳しく指導します。 実習生として適切な態度で受講してください。				手技について心配な方には、試験の総合点に関係なく、「補習対象」とします。			

科目名 (英)	歯科衛生学実践 (Dental Hygiene Practice)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 1・2時限
【授業の学習内容と心構え】 歯科予防処置論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ内容を基礎に臨床実習や就職後のために知識を深め、技術を磨きます。 チームで業務を行う意識とイニシアチブが術者にあることを意識し取り組んでください。 自ら学び、成長させる為、積極的にアドバイスをもらってください。							
【到達目標】 口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的な知識、技術および態度を修得する。 チーム医療、チーム歯科医療の一員としての歯科衛生士の役割を理解する。 人々のニーズに合った支援のため、歯科衛生のアセスメント・診断、計画立案、介入、記録、評価ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 最新 歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論				【授業外における学習】 1・2年生で学習したもの、臨床実習で身につけたものが土台となった授業です。 技術はもちろんですが、知識も高めて授業に臨んでください。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
16	【授業単元】 歯科衛生診断・歯科衛生計画立案(現状の説明) 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者の情報を整理し、口腔内の特徴をまとめる 現状を把握し、目標を立てる 長期目標、短期目標をもとに介入方法を考察する			24	【授業単元】 歯科衛生介入(PMTC) 【授業形態】 演習 【到達目標】 PMTCとPMTCの違いについて再度確認し、すべての歯面からブラークを完全除去する操作ができる 舌感が患者のモチベーションに影響することを理解する		
17 中間	【授業単元】 実技試験(スケーリング) 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する 緑上のブラーク、歯石の除去ができる			25 定期	【授業単元】 実技試験(TBI①) 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者の口腔内を把握した上で、適切なホームケア法を指導することができる 患者が自分の口腔内に興味関心が持てる指導ができる		
18 中間	【授業単元】 実技試験(スケーリング) 【授業形態】 演習 【到達目標】 術式の流れに沿って処置ができる 適切な声かけ等で安心できる処置を提供する 緑上のブラーク、歯石の除去ができる			26 定期	【授業単元】 実技試験(TBI①) 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者の口腔内を把握した上で、適切なホームケア法を指導することができる 患者が自分の口腔内に興味関心が持てる指導ができる		
19	【授業単元】 歯科衛生介入(スケーリング片顎) 【授業形態】 演習 【到達目標】 PMTCとPMTCの違いについて再度確認し、すべての歯面からブラークを完全除去する操作ができる 舌感が患者のモチベーションに影響することを理解する			27 定期	【授業単元】 実技試験(TBI②) 再診 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者の口腔内を把握した上で、適切なホームケア法を指導することができる 再診し、短期目標で達成できるか評価できる 再診時の処置の流れを判断できる		
20	【授業単元】 歯科衛生介入(スケーリング片顎) 【授業形態】 演習 【到達目標】 PMTCとPMTCの違いについて再度確認し、すべての歯面からブラークを完全除去する操作ができる 舌感が患者のモチベーションに影響することを理解する			28 定期	【授業単元】 実技試験(TBI②) 再診 【授業形態】 演習 【到達目標】 患者の口腔内を把握した上で、適切なホームケア法を指導することができる 患者の口腔内を再診し、短期目標で達成できるか評価できる 再診時の処置の流れを判断できる		
21	【授業単元】 歯科衛生介入(PMTC) 【授業形態】 演習 【到達目標】 PMTCとPMTCの違いについて再度確認し、すべての歯面からブラークを完全除去する操作ができる 舌感が患者のモチベーションに影響することを理解する			29	【授業単元】 症例まとめ 【授業形態】 演習 【到達目標】 担当患者の総まとめを行う。初診時と再診時のデータを比較し、次回リコールの設定を考える。データを整理する。		
22	【授業単元】 歯科衛生介入(PMTC) 【授業形態】 演習 【到達目標】 PMTCとPMTCの違いについて再度確認し、すべての歯面からブラークを完全除去する操作ができる 舌感が患者のモチベーションに影響することを理解する			30 定期	【授業単元】 記述試験、解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 アセスメント・診断・計画立案・介入。評価の流れから出題知識として理解できているかを確認する		
23	【授業単元】 歯科衛生介入(PMTC) 【授業形態】 演習 【到達目標】 PMTCとPMTCの違いについて再度確認し、すべての歯面からブラークを完全除去する操作ができる 舌感が患者のモチベーションに影響することを理解する			【評価について】 実技試験 68点 記述試験 32点満点 中間試験:①②③で40点満点 定期試験:④⑤⑥で60点満点 手技について心配な方には、試験の総合点に関係なく、「補習対象」とします。			
【特記事項】 忘れ物や身だしなみについて厳しく指導します。 実習生として適切な態度で受講してください。							

科目名 (英)	歯科介護学 (Dental care)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・専攻	歯科衛生士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 1組1時限 2組3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】							
臨床現場で、歯科衛生士と一緒に摂食嚥下リハビリテーションに携わる歯科医師が授業を担当する。 近年では高齢者社会に伴って訪問診療が急速に普及し、そういった場で活躍できる歯科衛生士の需要が増えてきている。この授業では、歯科衛生士として必要な摂食嚥下機能およびリハビリテーションに対する基本的な知識と技術を学び、将来小児から高齢者までの摂食嚥下障害患者に対応できる能力を習得して欲しい。							
【到達目標】							
摂食嚥下障害患者に対応できる摂食嚥下機能およびリハビリテーションについて説明ができ、実際の現場で対応できる知識を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション(第2版)				教科書で予習し、授業プリントを用いて復習することが望ましい			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 摂食嚥下リハビリテーション総論 【授業形態】 講義 【到達目標】 摂食嚥下リハビリテーションとは何かについて説明ができる 正常な嚥下機能および5期について説明ができる 摂食嚥下障害の原因と分類について説明ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 摂食嚥下に関わる構造と評価方法 【授業形態】 講義 【到達目標】 摂食嚥下に関わる構造と解剖について説明ができる 評価方法の分類と内容について説明ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 摂食嚥下リハビリテーションの分類と種類 【授業形態】 講義 【到達目標】 直接訓練について説明ができる 間接訓練について説明ができる 各々の訓練内容について説明ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 中間試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 3回分の授業内容について理解ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 小児の摂食嚥下障害、緊急時の対応 【授業形態】 講義 【到達目標】 正常発達の8段階について説明ができる 原因と特有の症状、指導内容について説明ができる 口腔機能発達不全症、バイタルサイン・緊急時の対応について説明ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 高齢者の摂食嚥下障害と対応 【授業形態】 講義 【到達目標】 脳血管障害、パーキンソン病について説明ができる 口腔機能低下症について説明ができる 補綴装置について説明ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 摂食嚥下に関わる栄養と口腔ケア 【授業形態】 講義 【到達目標】 栄養ルートについて説明ができる 栄養の評価方法について説明ができる 口腔ケアの分類と方法について説明ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 3回分の授業内容について理解ができる				【評価方法について】 評価は筆記試験にて行い、中間試験(40点)と定期試験(60点)の点数から総合的に評価する。		
【特記事項】							

科目名 (英)	歯科衛生総合演習Ⅰ(基礎科目系)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
	(General dental hygiene exerciseⅠ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月～金曜日 1～4時限(時間割参照)
学科・コース	歯科衛生士科						
【授業の学習内容と心構え】 歯科医師、歯科衛生士の資格を有する教員が、基礎科目系の総合演習授業を行う。							
【到達目標】 過去問題集を解く過程で解答を導き出し理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1・2	【授業単元】解剖学(担当教員:岸重人) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			17・18	【授業単元】病理学(担当教員:添野雄一) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
3・4	【授業単元】解剖学(担当教員:岸重人) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			19・20	【授業単元】栄養学(担当教員:田口千恵子) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
5・6	【授業単元】生理学(担当教員:石野竜平) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			21・22	【授業単元】生化学(担当教員:西山勝弘) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
7・8	【授業単元】生理学(担当教員:石野竜平) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			23・24	【授業単元】公衆衛生学(担当教員:田口千恵子) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
9・10	【授業単元】微生物学(担当教員:中西生美) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			25・26	【授業単元】公衆衛生学(担当教員:田口千恵子) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
11	【授業単元】微生物学(担当教員:中西生美) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			27・28	【授業単元】衛生行政・社会福祉学(担当教員:田口千恵子) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
12・13	【授業単元】薬理学(担当教員:筒井健機) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			29・30	【授業単元】衛生行政・社会福祉学(担当教員:田口千恵子) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
14	【授業単元】薬理学(担当教員:筒井健機) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
15・16	【授業単元】病理学(担当教員:添野雄一) 【授業形態】講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【評価について】 模擬試験の合格ラインを基準に評価を行う		
【特記事項】							

科目名 (英)	歯科衛生総合演習Ⅱ(臨床科目系) (General dental hygiene exerciseⅡ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・コース	歯科衛生士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月～金曜日 1～4時限(時間割参照)
【授業の学習内容と心構え】 歯科医師、歯科衛生士の資格を有する教員が、臨床科目系においての授業を行う。							
【到達目標】 過去問題集を解く過程で解答を導き出し理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回				回			
授 業 概 要				授 業 概 要			
1・2 【授業単元】 歯科臨床基礎(担当教員:渡邊香里) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				20・21 【授業単元】 歯周治療学(担当教員:五十嵐寛子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			
3・4・5 【授業単元】 歯科矯正学(担当教員:荻原栄和) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				22・23・24 【授業単元】 高齢者歯科学(担当教員:新藤広基) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			
6・7 【授業単元】 小児歯科学(担当教員:新見嘉邦) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				25・26 【授業単元】 障害者歯科学(担当教員:亀岡亮) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			
8・9・10 【授業単元】 口腔外科学(担当教員:星野照秀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				27・28 【授業単元】 歯科介護学(摂食嚥下機能訓練)(担当教員:齋藤貴之) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			
11・12・13 【授業単元】 歯科補綴学(担当教員:佐藤貴映) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				29・30 【授業単元】 歯科介護学(義歯)(担当教員:齋藤貴之) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			
14・15 【授業単元】 歯科保存学(担当教員:北大樹) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
16・17 【授業単元】 歯科保存学(担当教員:北大樹) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
18・19 【授業単元】 歯周治療学(担当教員:五十嵐寛子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。				【評価について】 模擬試験の合格ラインを基準に評価を行う			
【特記事項】							

科目名 (英)	歯科衛生総合演習Ⅲ(歯科衛生士業務系)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
	(General dental hygiene exercise Ⅲ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	75時間 (5)	開講区分 曜日・時間	後期 月～金曜日 1～4時限(時間割参照)
学科・コース	歯科衛生士科						
【授業の学習内容と心構え】 歯科医師、歯科衛生士の資格を有する教員が、主要3科において授業を行う。							
【到達目標】 過去問題集を解く過程で理解を深める							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			9	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
2	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:川村梓) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			10	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
3	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:川村梓) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			11, 12	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
4	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:富澤真友子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			13, 14	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
5	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			15, 16	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:富澤麻友子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
6	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			17, 18	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
7	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:富澤麻友子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			19	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:川村梓) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
8	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			【評価について】 模擬試験の合格ラインを基準に評価を行う			
【特記事項】							

科目名 (英)	歯科衛生総合演習Ⅲ(歯科衛生士業務系) (General dental hygiene exerciseⅢ)	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	
学科・コース	歯科衛生士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	75時間 (5)	開講区分 曜日・時間	後期 月～金曜日 1～4時限(時間割参照)
【授業の学習内容と心構え】 歯科医師、歯科衛生士の資格を有する教員が、主要3科において授業を行う。							
【到達目標】 過去問題集を解く過程で理解を深める							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
20	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:渡邊香里) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			28	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
21	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			29	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
22	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			30, 31	【授業単元】 歯科診療補助論(担当教員:渡邊香里) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
23	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			32, 33	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
24	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			34, 35	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
25	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			36, 37	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
26	【授業単元】 口腔衛生学(担当教員:一宮頼子) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			38	【授業単元】 歯科保健指導論(担当教員:本田美紀) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。		
27	【授業単元】 歯科予防処置論(担当教員:石見杏奈) 【授業形態】 講義 【到達目標】 出題傾向を把握し、過去問題を反復することにより問題の理解を深め、解答できるようになる。			【評価について】 模擬試験の合格ラインを基準に評価を行う			
【特記事項】							